

球磨川緊急復旧工事(八代河川国道)

3箇所を10日で完了、施工対応に土井組、中山建設、福岡建設

7月28日に発生した熊本地震で、国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所は、球磨川において44箇所の変状を確認。このうち、大きな変状が見られた3箇所は24時間体制で緊急復旧工事を進め、10日間（約240時間）で緊急復旧工事を完了させた。また、並行して進めてきたその他箇所の応急対策も終えた。

緊急復旧工事が行われたのは、八代市萩原一丁目地先の球磨川右岸6k200～6k450付近で堤防縦断亀裂（被災延長L＝250m）が発覚。7月29日16時40分から、緩んだ堤防土砂を撤去し堤防の再構築に着手し、8月7日18時00分に完了。「災害時における応急対策工事に関する基本協定」に基づき㈱土井組が施工に携わった。

八代市古麓町の球磨川右岸8k000付近でも堤防縦断亀裂（被災延長L＝40m）。7月31日21時00分から亀裂が発生した堤防の法面保護を実施し8月4日12時00分に完了。同協定に基づき㈱中山建設が担当した。

八代市渡町の球磨川左岸8k540付近も堤防縦断亀裂（被災延長L＝40m）。7月31日22時00分から亀裂が発生した堤防の法面保護に取り組み、8月5日15時00分に完了。同協定に基づき㈱福岡建設が工事した。

[応急対策工事箇所](#)